

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 12 月 13 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470103940 | | |
| 法人名 | 株式会社 ひょうま | | |
| 事業所名 | グループホーム ひなたぼっこ・亀山① | | |
| 所在地 | 〒731-0231 広島県広島市安佐北区亀山五丁目9番13号 (電話) (082) 819-3255 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年11月8日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103940-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成25年12月11日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|---|
| <p>家庭的な雰囲気の中で一人ひとりが役割を持つことで、生きがいを感じてもらえるように支援していること。入居者の声に耳を傾ける等、入居者の能力や状態に応じた自立支援に柔軟に対応できる体制を整えることができるよう取り組んでいること。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| <p>当ホームは、平屋建てを活用した2ユニット（定員18名）建物である。住環境は快適な生活空間にこだわり、リビングや居室、トイレの位置など、とても快適で使い勝手が良い。全職員が「利用者の立場になって考え」「もし自分だったらどうするか」「何事に関しても利用者と一緒に考え、一緒に実行していく」方針のもと支援をされている。地域の皆様との交流が図られるように、地域との関わりを密にし、訪問者や協力者が増えている状況である。利用者の要望に対しても、「出来ないでなく、どうやったら出来るか」を常に考え、実行に移している。外出することは、本人にとっても気分転換に繋がるため、紅葉を見に行ったり、映画やドライブなど全員の外出、個人外出を通じて、個別対応をするなか、利用者の表情が明るくなってきている。今後、園庭スペースを活用し、家庭菜園（野菜作りなど）を行い、利用者の役割を増やしたいと考えている。</p> |
|--|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 事業所理念を掲げ、いつも念頭に置きながら実践できるように取り組んでいる。また、定期的に確認を行っている。 | 法人としての理念を基に、日々の支援に活かしている。なお、本人らしい生活が送れるように、本人の能力を奪わない自立支援に心掛けている。 | 法人としての理念を基に、地域状況や利用者の状況、各職員の意見を取り入れ、具体的な行動指針や年度目標を立案することを望みます。また職員個々の個人目標を設定することにより、理念に関しての意識が維持・向上できるような取り組みされることを望みます。 |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 地域・小学校の行事参加や近隣のグループホームとの定期的な交流、自治会への加入、また、日常的な買物や散歩を行い、挨拶等行っている。 | 近隣の朝市に買い物へ出掛け、新鮮な野菜など購入している。自治会への加入や公民館活動でボランティアが定期的に訪問され催し物（コーラス、フラダンス、銭太鼓など）がある。地域行事（秋祭り）の際には、神輿がホームまで来られ、地域と利用者の交流が図られている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 地域の方が来られた時など、認知症に対する理解や相談を行っている。また、中学校の職場体験・小学生の町探検など交流を持っている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 会議を通して、ホームでの取り組みなどの報告や話し合いを行い、出席者の意見をもとにサービスの向上・実践につなげられるように努めている。町内会長や近所に挨拶等働きかけを行ってはいるが、会議への出席にはなかなか結びついていない。 | 参加者との建設的な意見交換、情報交換が行われている。なお、参加者から勉強会（救命措置や病状など）の提案もあり、受けた内容を実施している。家族の方は、開催日時の状況により不参加であるが、それを受け年1回の家族会で情報交換を行っている。内容については月1回の職員会議で報告し、サービスの向上に活かしている。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 定期的にホームの状況などの説明を行い、連携を取るよう努めている。 | 季刊誌（年4回）を送付している。直接出向いたり、電話連絡で随時連携を図っている。同地区（亀山）には、4つのグループホームがあり、年1回事業所が集まり情報交換の場を設け、他の事業所との協力関係を築くようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>職員会議での勉強会や外部研修などで、具体的な行為を含め身体拘束防止について理解し、職員間で共通意識を持ち、取り組んでいる。</p> | <p>191号線による車両などの交通量の関係で、安全配慮のため、玄関入口は鍵を掛けている。利用者の状況により危険を伴う時は、家族と相談しながら状況に見合った対応する場合がある。職員に正しく理解して頂くための方法として、適宜研修を行い、事業所独自の「虐待防止チェック表」を作成されており、自己評価されている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>常に意識し、職員会議などで勉強会を行い、細心の注意、防止に努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>職員会議等にて勉強会を行い学んでいる。必要性について話し合うこともある。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>不安などを聞き、十分な説明を行い、理解、納得していただけるようにしている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>運営推進会議への参加を募ったり、来所時や電話にて意見等聞けるよう努め、反映させている。また、本人の意見等を話せる機会を設けている。</p> | <p>入居時に、本人および家族の意向を把握したり、面会時などに、家族の生の声を聴くように努力されている。毎月請求書と一緒にホーム便りとして「広報誌」を送付している。なお、法人本社から毎年1回「利用者の家族アンケート（満足度調査）」を実施し、それらの意見・要望を改善に努め利用者支援に繋げている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>申し送りや職員会議、また時間のある時に話を聞く機会を持ち、反映させている。</p> | <p>本社職員が出席されている、ホーム長会議が2カ月に1回実施され、事業所での要望や課題点などあれば、それらの意見や要望を改善、反映されるシステムがある。ホーム長と職員も年1回個別面談の実施や定期の申し送り時などで、常にコミュニケーションは日常的にされ、話しやすい環境である。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>面談にて職員個々の意見を聞く機会を設けている。また、職員の資格取得に向けた支援や、目的意識を持つよう努めている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>なるべく誰もが外部研修に参加できる勤務体制を調えるよう考慮している。また、毎月の職員会議に相互の内部研修を行うようにしている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>他事業所との交流や意見交換、勉強会等へ参加できるよう、勤務体制のうえで配慮し、サービスの見直しの機会を得るようにしている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>面談や事前の体験入居を行うことにより、本人の希望や心配ごとなど考慮しながら、信頼関係を築くようにしている。また、家族の思いについても考慮している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>家族の希望や不安など十分な時間を取って、いつでも話せる機会を設け、信頼関係を築けるように努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>本人と家族の必要としている部分を考慮し、必要時には他のサービス利用も検討している。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>普段の生活の中で、入居者に教えてもらうことも多く、本人の特徴を活かしながら、関係を作れるように心がけている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>家族との情報交換、また相談等とおして、関係を築けるよう努めている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>定期的な墓参りや、昔からの友人、ご近所との交流、買い物へ外出するなど馴染みの場所への外出、自宅などにドライブで出掛け家の様子などを見に行くなどで支援している。</p> | <p>入居時に本人の意向や家族の意向を把握している。友人の面会や以前に住まれた家を見に行ったり、定期的な墓参りなどしている。慣れ親しんだ人と関わることにより、表情が明るくなってきている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p> | <p>入居者同士の人間関係に配慮し孤立しないよう、食事作りや作品作り、外出などを通じて支援に努めている。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p> | <p>長期的には少ないが、定期的なお見舞いや、家族が来所されるなど一定期間の継続的な関わりを行っている。</p> | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | <p>本人とのコミュニケーションを通して、希望や意見にできるだけ添えるように努めている。困難な方は、家族に相談するなどして対応している。</p> | <p>即入居することは、環境の変化、精神的にも負担となるため、体験入居（3日程度）を利用し、入居に至っている。入居時に本人および家族の意向を把握し、日々の関わりの中かで、要望を把握できるように、言葉や行動など些細なことを「生活記録」に記載し、確認している。本人の意向把握が難しい場合は、家族に聴いている。</p> | |
| 24 | | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p> | <p>今までの生活歴など、本人や家族に確認を行い、記録に残すなど状況を把握している。</p> | | |
| 25 | | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p> | <p>入居者それぞれの状態、状況を常に意識し、確認、把握に努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>毎月の職員会議や本人の希望、家族との相談、関係者の意見をもとに作成を行っている。</p> | <p>個々の利用者が生きがい、遣り甲斐のある生活、本人の身体状況に合わせ、介護計画の実施状況やモニタリングを作成、現状に即して見直しなどを実施をしている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>入居者ごとの個別記録に、気付きや本人の主張など記入し職員間で共有している。また、それに基づき意見交換や介護計画の見直しを行っている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>ホーム内で、ボランティアの方によるレクや催し物など、外部の方に参加していただける機会を作っている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>近隣のグループホームとの交流やボランティアの協力依頼、中学校の職場体験、また、子供会、消防署などと協働できるよう支援している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>入居前からのかかりつけ医を継続できるよう支援をし、受診時に必要な相談をしたり、指導を受けられるようにしている。</p> | <p>ホームとして、協力医の往診（2週間に1回）、非常勤職員の看護師配置により、適切な医療が受けられる体制で、緊急時の連絡体制も整っている。健康状況については、「医療受診記録」に記入し、日々の健康状況や受診状況、治療経過も丁寧に記録管理され、情報共有している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | <p>職員として看護師を配置し、週2日の出勤時に健康管理等の支援を行い、また、状態などを報告し受診などにつなげている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>ケースは少ないが、入院前にはサマリーをお渡しし情報交換を行い入退院時に医療関係者との情報交換や相談・継続的な支援の必要性を話し合っている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>重度化した場合を想定し、家族に早い段階から話し合いを行っている。その意見をもとに、主治医や看護師、職員と今後の対策について決定するようにしている。</p> | <p>現状として、対応したケースは無い。介護現場での医療行為、介護間のできる医療行為のこともあり、ホームとしては、「医療的な対応、看取りに関する指針」に準じての対応となる。重度化や終末期には、医療機関との連携が不可欠なため、主治医の意見や家族の意向を踏まえての対応となる。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | <p>緊急時マニュアルがあり、対応の仕方を職員会議などで定期的に学び実践につなげている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | <p>年2回以上、避難訓練を実施し、そのうち1回は消防署より指導を受けている。また、避難訓練などに地域の方にも出席してもらうようにしている。日常会話の中にも緊急時の避難方法話すこともあり、実践に生かして行きたい。</p> | <p>地元消防団やボランティアが消防訓練に参加している。災害時には、近隣の方が頼りになるため、訓練時には、近隣への案内をし、協力関係づくりに努めている。年1回は、消防署職員から日中や夜間想定の方法のアドバイスを頂き、実践的に訓練をしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | プライバシーを配慮した声かけや対応などを行っている。また、記録などの確認をし、定期的に指導を行っている。 | 研修や事業所独自の「虐待防止チェック表」を基に、利用者一人ひとりを尊重し、受容、共感、傾聴の姿勢を大切にしている。言葉掛けについても「よくできたね」など、赤ちゃん言葉にならないようにしている。排泄後の臭い、後始末などの支援方法についてもプライバシーに十分気をつけた対応をされている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | それぞれの状態や能力に応じ、可能な限り自己決定の支援を行っている。また、意思表示が困難な方は、表情などを細かく観察するようにしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 本人の希望に応じて、無理のないよう買物や散歩、ドライブなどを行うよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 散髪や髪染めを、本人の希望に合わせて、馴染みの店で行っている。また、服選びは数種類の中から本人と相談のうえ決めるようにしている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 献立を入居者と一緒に考えることがあり、買物や調理、盛り付け、片付けなど一緒に行っている。また、行事・誕生日には工夫を凝らした料理やお酒を出し、楽しんでいただいている。 | 3食とも手作りである。個々の嚥下状態や食事摂取状況を把握し、利用者の状況に応じた個別対応の食事提供をしている。誕生日には外食や本人の好むものを取り入れ、食事が楽しめる工夫や雰囲気づくりをしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。 | 栄養を考え、しっかり摂取できるようメニューが重ならないよう献立を決めている。また、食事や水分摂取量の確認を行い、不足している場合は、本人の嗜好に合わせ代わりのもので摂っていただいている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後の口腔ケアの声かけ・介助を行い、週1回入れ歯の消毒も実施している。また、必要に応じて訪問歯科の指導も受けている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 本人の状態や状況に応じて排泄パターンを理解し、トイレの声かけ、誘導、交換を定期的に行っている。本人に応じた排泄用品を検討している。 | 自然排便を促す方法として、水分摂取や乳製品、野菜を中心とした繊維質の食材を提供している。本人の状態に応じて、紙おしめの選定や声掛け、トイレ誘導時なども、プライバシーに十分気をつけた対応をされている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 便秘予防のため、水分や乳製品、繊維質の食材を献立に取り入れている。また、歩行運動や腹部マッサージを実施している。便秘気味の方には、排便確認表で管理を行い、服薬等で調整している。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。 | 希望する回数や時間など、体制の可能な限り対応できるようにしている。 | 週2～3回、入浴を行い、一人ひとりの状態を把握し、体調に合わせた入浴支援をしている。病状（心臓疾患など）によっては、長湯が出来ない方もおられるが、適宜、入浴剤を活用して、本人に満足していただくことを心掛け、ゆっくりと入浴ができるように支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | 居室の環境整備、室温管理を行い、足浴の実施や、日中の活動量を増やすなどの工夫をしている。 | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | 服薬ファイルがあり、変更、服薬時など確認を行っている。状態も常に把握し、不明な点などあれば、主治医や薬剤師に相談、また指導を受けるようにしている。 | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | 食事作りや畑仕事、手芸、作品作りなど、それぞれの得意分野を見つけ、役割を持って行えるよう支援している。また、本人の希望に沿って支援を行っている。 | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | できるだけ本人の希望に応じ、買物や散歩、ドライブ等と出掛けるようにしている。また、入居者の状況に合わせて、家族の協力のもとに行っている。 | 外出は、本人にとって気分転換にも繋がるため、紅葉を見に行ったり、映画や近所へ散歩、外食も兼ねて出掛けている。同グループが近隣地区にあることもあり、合同行事（クリスマス会など）を行い、利用者がお互いを行き来している。全員での外出や個人外出を通じて地域の皆様との交流が図れるよう機会づくりに努めている。 | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | 本人の状態に合わせて所持していただき、欲しいものや必要なものなどを買物時などに、使えるように支援をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>本人の希望に合わせて、定期的に電話したり、手紙を出すなどの支援を行っている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>季節に合った飾りつけ、展示物、模様替えなど、入居者と一緒に工夫し行うことで、居心地のいい空間を作っている。</p> | <p>利用者と一緒に相談して、季節感を取り入れた、季節ごとの飾り付けをしている。利用者個々の居場所があり、職員も穏やかな対応に心掛け、一人ひとりが心休まり我が家のように生活されている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>談話室や廊下、中庭などにスペースを設け、くつろげる居場所を作っている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>本人・家族と相談の上、今までの環境とあまり変わらないよう、慣れ親しんだ家具や食器などを持ってきていただいている。また、本人の好みの装飾品などを置き工夫している。</p> | <p>本人の状態に応じて、本社で作られた手作りベッドや必要時は電動ベッドをホームで用意されている。家族の写真や花を飾ったり、使い慣れた寝具や家具など生活必需品を持ち込まれている。本人が居心地よく生活して頂くように、本人や家族と相談しながら工夫している。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>入居者の状態に合わせた椅子やテーブル、手すりなどを設置している。また、それぞれの状態などに応じて、目印などを用意し対応している。</p> | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ひなたぼっこ亀山①

作成日 平成26年1月11日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|------------------|--|------------|
| 1 | 1 | ホーム内の具体的な行動指針、年間目標の立案・職員個々の個人目標の設定・意識向上 | ホーム・職員個々の年間目標の設定 | 年間目標を見える所へ掲示し達成に向けて取り組んでいく、3ヶ月ごとに目標達成度について面談を行う。 | 1年 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ひなたぼっこ亀山②

作成日 平成26年1月21日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------|-------------|------------------------------------|------------|
| 1 | 1 | 職員個々人の目標の設定・意識向上 | 職員、個々人の目標設定 | 個別に管理者と面談を行い、目標の設定をし、3ヶ月毎に振り返りを行う。 | 1年 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。